町政を問う！

荒廃した農地

町の観光資源で町を活性化しよう

将来を見据えた農地保全をどう考えてるのか
遊休農地対策に努めて行きたいと考えてます

小谷（こだに） 康仁（やすひと） 議員

高齢化により農業をやめられる方々が増え、耕作放棄地も増えていくのが本町の深刻な問題です。耕作放棄地が増えると景観が損なわれ、地域が荒れ、暮らしにくくなります。農林水産省では、人・農地プランから農業者や地域の皆さんの話合いにより策定される、将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画」が求められています。町民の方々が住みやすい環境とするために、将来を見据えた農地保全をどのように考えているのか伺います。

町長 地域の農地をどのように守っていくかを地域の方で話し合って頂く。現在の農業者のみならず、非農家である方々にも話合いに加わって頂き、住まれる皆さんがみんなで農地保全に取り組んでいかれることが解決の第一歩となると考えます。町としても地域計画を進めていこうとされる集落についてサポートさせて頂くとともに、農業者にとって有効な補助制度等を広く活用いただけるよう推進し、遊休農地対策に努めていきたいと考えています。

地域活性は新たな観光DMO組織で
現況のまま今後の検討をします

西川（にしかわ） 誠一（せいいち） 議員

町内3観光協会が未だ統合できていない中、町の観光客誘致や観光ビジョンはどうか。

また、町が参画している「麒麟の町DMO」は鳥取砂丘を中心に据え観光を展開している。メリットはあるか疑問である。

地域DMOで地域資源を商品化している南丹市美山町を視察してきたが、「観光客が来れば来るほど町が良くなる」という発想で活動し、公共交通の利便性も図ろうとしている。

香美町も地域DMO組織を作る考えはないか。

町長 町内3観光協会の統合は、担当課も積極的に関り協議を進めていますが統合はまだです。

「麒麟のまちDMO」は鳥取県東部1市4町と兵庫県では新温泉町と香美町が参加し、観光圏も一致させることで圏域が持続可能な地域となるよう進めています。鳥取砂丘は外国人観光客が多いので香美町にも波及効果はあると期待しています。

また、新たなDMOについては、今後検討します。